



写真 1 霜害のなかつた茶



写真 3 霜害のなかつた桑



写真 2 霜害を受けた茶

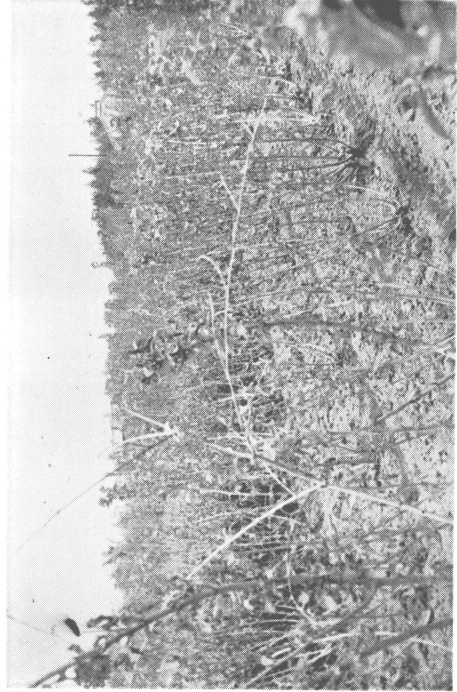
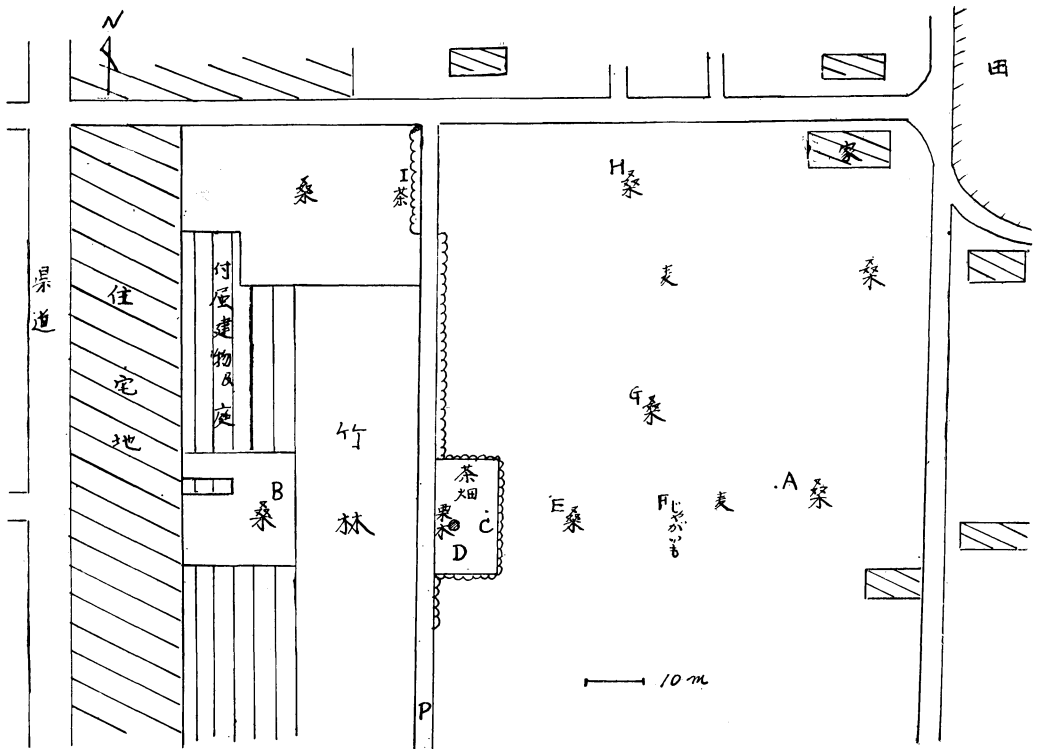


写真 4 霜害を受けた桑



1956年4月30日の霜害 (写真説明)

附近はいわゆる武蔵野台地で、特にとり立てて述べるほどの起伏はない。県道ぞいに住宅(農家)がならんでおり、その東側がひらけ畑地となっている。P印の小道は左右より僅かに低くなっており、茶畑附近でもっとも低く差は1m位。この畑地は農家の近くにあるので野菜が多いが、麦、桑もかなり多く作られている。

写真を撮った時、ただ自分の家の畑の被害状況を記録しておくつもりだったので、改めて報告にするとおぼろげな点が多いのが残念である。

- A (写真4) 被害が大きかった桑
- B (// 3) // なかった桑
- C (// 2) 被害をうけた茶
- D (// 1) // うけなかった茶
- E 桑の葉半分位黒くなった。
- F じゃがいもの葉ほとんど黒くなった。
- G 桑の葉ほとんど黒くなった。
- H 桑の葉ほとんど黒くなった。
- I 茶の新芽真黒くなった。

なお写真は5月5日の日に写した。

写真、文ともに鯨井孝一氏(中央気象台予報課)